

2012年11月20日
mail ニュース
No.2・通巻277

部内資料・都知事選特集

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合
発行人 風間隆行
TEL 03-5381-0250

宇都宮都知事の誕生で、都民・職員本位の都政実現を！

2012年11月20日
自治労連都庁職執行委員会

石原都知事の国政転出を理由とした突然の辞任により、11月29日告示、12月16日投票の日程で都知事選挙が行われることとなりました。

1999年4月から13年半に及んだ石原都政は、「財政再建推進プラン」に基づくシルバーパスなどの廃止、都立病院の半減、都営住宅新規建設ゼロなど、福祉・医療を中心とした都民施策を次々と切捨ててきました。

一方で、都財政を三環状道路などの大型開発に湯水のごとく注ぎ込むとともに、都民の支持がないオリンピック招致に2度も立候補しました。憲法に逆行する「破壊的教育改革」が第4期石原都政の懸案事項と言ってはばかりませんでした。

今回の都知事選挙は憲法無視の反都民的な施策を続けてきた都政を変えるための絶好のチャンスです。

こうした情勢の下で、前日本弁護士連合会会長の宇都宮健児さんが「ひとにやさしい東京をつくる会」から立候補することを表明しました。

宇都宮さんは「ひとにやさしい東京をめざす四つの柱」を発表しましたが、それらは「憲法のいきる東京」、「原発のない社会」など、いずれも私たちの要求と一致するものです。

宇都宮都知事が誕生すれば、東京都庁だけでなく23区や多摩の市町村、さらには全国の自治体、国政にも重大な影響を与えることは間違いがありません。

以上の点から、自治労連都庁職は11月20日の執行委員会で、宇都宮健児さんの推薦を決定しました。同時に、「都知事選挙への行動提起」を決定し、全力で都知事選挙を取り組む決意です。

都民と職員本位の都政実現に向けて、すべての組合員の皆さんに、宇都宮都知事を実現するために力を発揮していただくよう呼びかけます。

以上